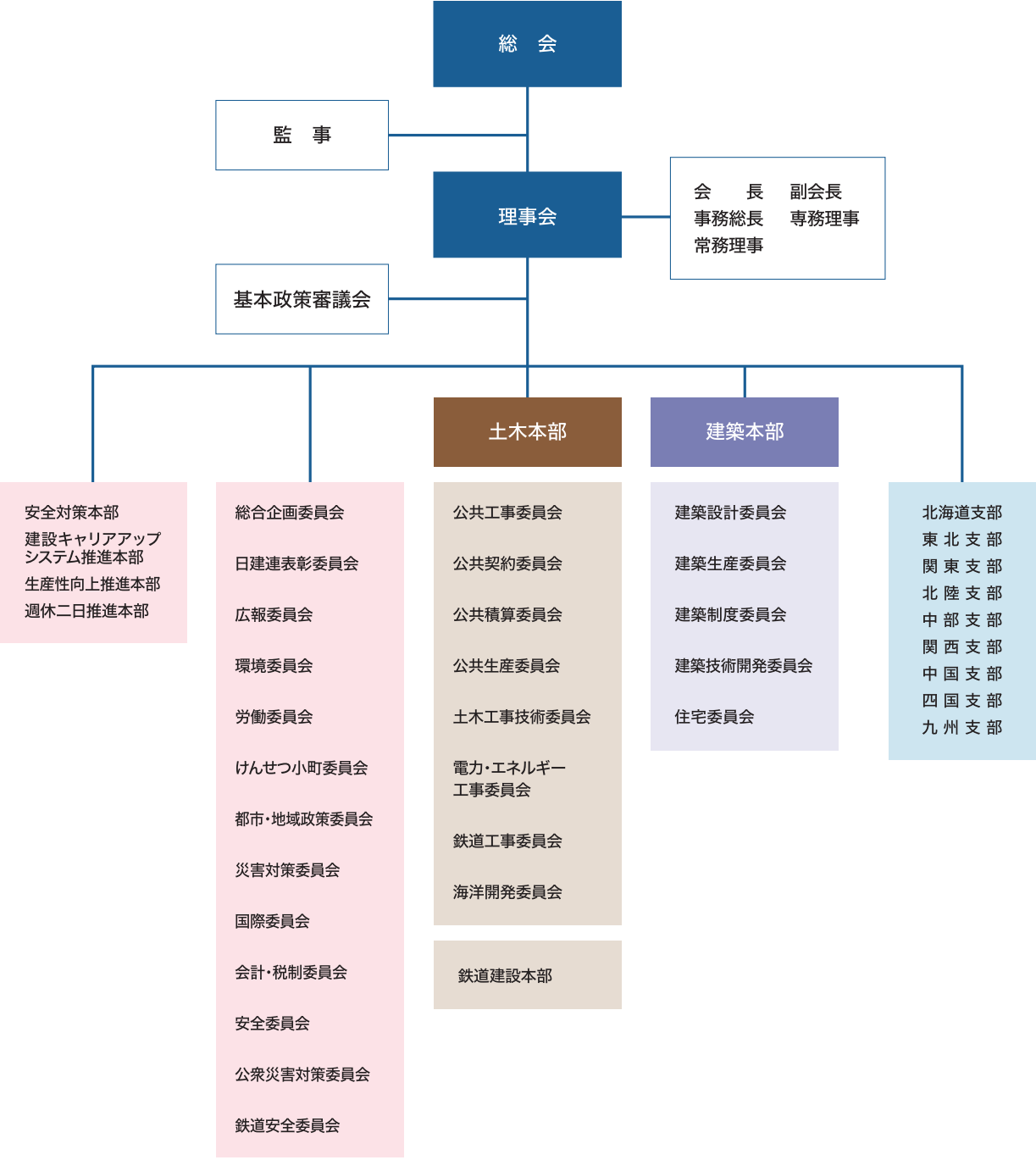




(2025年5月現在)

所在地

本部	〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館内 TEL:03-3553-0701(代表) FAX:03-3551-4954	中部支部	〒460-0008 名古屋市中区栄3-28-21 愛知建設業会館内 TEL:052-261-3808 FAX:052-261-4363
北海道支部	〒060-0002 札幌市中央区北2条西1-10 ビア2・1 8階802号室 TEL:011-261-6243 FAX:011-261-2528	関西支部	〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-30 大阪建設会館内 TEL:06-6941-3658 FAX:06-6942-4031
東北支部	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-2-3 広業ビル内 TEL:022-221-7810 FAX:022-265-9465	中国支部	〒730-0051 広島市中区大手町2-11-15 新大手町ビル内 TEL:082-243-3017 FAX:082-242-2380
関東支部	〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館内 TEL:03-3552-3208 FAX:03-3552-3206	四国支部	〒760-0026 高松市磨屋町6-4 香川県建設会館内 TEL:087-851-6969 FAX:087-851-3176
北陸支部	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1 興和ビル内 TEL:025-285-8886 FAX:025-285-8884	九州支部	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-22 産恵ビル内 TEL:092-451-6244 FAX:092-481-0941



確かなものを 地球と未来に

一般社団法人 日本建設業連合会(日建連)は、
わが国建設業の主導的団体として、会員はもとより、
政府、発注機関、各種経済団体、業界団体や労働組合など、
関係する組織・団体と連携して
建設業の健全な発展に向けた諸活動を推進しています。



会長
宮本 洋一

日本建設業連合会は、2011年4月の発足以来、大規模自然災害の復旧・復興支援、建設キャリアアップシステム(CCUS)の普及促進、週休二日推進などの働き方改革、生産性向上など、建設業の社会的使命の遂行と様々な課題の解決に取り組み、業界を代表する総合建設業団体としての地歩を築いてまいりました。

今後も「社会資本整備による国土強靱化と景気の下支えへの貢献」「担い手確保のための更なる処遇改善の推進」「カーボンニュートラルな社会への挑戦」など、日本の将来の発展に資する活動を強化し、国民の皆様の安全・安心な生活をつくり、守ることに尽力してまいります。



副会長 土木本部長
押味 至一



副会長 建築本部長
蓮輪 賢治

沿革

1949年	日本土木工業協会設立	2015年	3月 「再生と進化に向けて一建設業の長期ビジョン」発表
1959年	建築業協会設立		4月 「けんせつ小町委員会」設置
1967年	日本建設業団体連合会(旧・日建連)設立		7月 「CCUS推進本部」設置
2011年	4月 上記3団体が合併、社団法人日本建設業連合会(新・日建連)発足		12月 「生産性向上推進本部」設置
2012年	2月 「復旧・復興特別委員会」「電力対策特別委員会」設置	2017年	3月 「週休二日推進本部」設置
	3月 「日建連建築宣言」発表	2019年	9月 「日建連表彰」創設
	12月 「インフラ再生委員会」「住宅委員会」設置	2021年	4月 「日建連表彰2020」表彰式開催
2013年	4月 一般社団法人に移行		

日建連の事業

防災・減災 国土強靱化

迅速な災害対応

わが国では、毎年のように大規模自然災害が全国各地で発生しています。日建連は、災害対策基本法上の指定公共機関として、災害協定に基づき、迅速な災害対応に努めています。

また、建設BCPガイドラインを策定し、会員企業の事業継続力を高めるための取組みを行っています。



災害対応出動の様子



建設BCPガイドライン

安全

建設現場の安全対策

建設現場における労働災害や公衆災害および疾病防止のための教育資料の作成や現場点検を行っています。

新型コロナウイルス感染症対策においても、ガイドライン作成や就労者支援などの取組みを迅速に行っています。



現場点検の様子



現場での新型コロナウイルス感染症対策

未来の担い手確保

建設キャリアアップシステム(CCUS)

日建連は、建設技能者の技能・経験に応じた処遇改善を実現するため、国土交通省と連携して、建設キャリアアップシステム(CCUS)を普及・推進しています。

システム開発に必要な資金を拠出するとともに、普及の取組みとして、就業履歴蓄積数等の数値目標や推進方策の策定、技能者向けの広報などを行っています。



実際の運用シーン



技能者登録案内パンフレット



建設キャリアアップシステムの普及・推進
<https://www.nikkenren.com/sougou/careerup.html>

建設キャリアアップシステム(CCUS)とは

建設技能者の資格、就業履歴などを一元的に蓄積するシステム。建設技能者の能力評価や建退共の掛金、社会保険の加入状況確認などに活用される。

建設技能者の処遇改善のための取組み

日建連では、未来の担い手確保のため、2015年に決定した長期ビジョンに基づき、以下の取組みを行っています。

適切な処遇の実現

- ▶ 労務費見積り尊重宣言
- ▶ 建退共制度の完全実施

社会保険加入促進

若者にとって将来を託すことができる産業へと進化していくための道筋を提示した長期ビジョン(2015年)



建設技能労働者の人材確保・育成
<https://www.nikkenren.com/sougou/ikusei.html>

けんせつ小町

建設業界において女性が更に活躍できるように2014年のスタート以降、女性のみならず建設業全体が、「働きやすい、働き続けたい」と思える職場環境となることを目指し、セミナー・フォーラム、現場のマニュアル整備や広報活動など様々な取組みを行っています。



建設現場で活躍するけんせつ小町たち

けんせつ小町ウェブサイト
<https://www.nikkenren.com/komachi/>



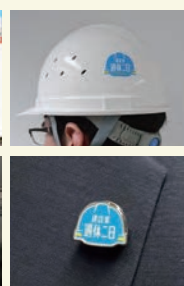
より良い働き方

週休二日実現・長時間労働是正への取組み

建設業において、働き方改革は喫緊の課題です。日建連では週休二日の実現、長時間労働是正、適正な工期設定などの働き方改革に関する三位一体の活動を基に、「週休二日実現行動計画」の策定や広報活動など様々な取組みを行っています。



『建設業週休二日』事業では
ロゴマークやパンフレット、グッズなど作成



建設業週休二日ウェブサイト
<https://www.nikkenren.com/2days/>



生産性向上

働き方改革を実現するには、BIM/CIMやロボットを活用した生産システムの効率化・高度化を図り、建設現場での生産性を向上させることが必要不可欠です。日建連では「生産性向上推進要綱」の策定やフォローアップ、事例集取りまとめなどの活動を行っています。



建設現場でのロボットの活用



生産性向上事例集

生産性向上
<https://www.nikkenren.com/sougou/seisansei/>



土木 — 社会資本整備の推進

公共工事の円滑な施工

ダム、堤防、道路、鉄道、港湾、空港、エネルギー施設は、私たちの生活や社会経済活動を支えるとともに、自然災害からの安全・安心の確保に欠かせない社会資本です。また、わが国の社会資本ストックは、急速に老朽化が進んでおり、リニューアルが必要となる施設が多くなっています。

日建連では、社会資本整備の重要性や各事業分野にかかわる課題を検討するとともに、公共工事の円滑な施工に資する入札・契約制度の改善、適正な工期設定と条件明示、週休二日の実現、適切な設計変更、施工技術にかかわる調査研究など、生産性向上と働き方改革、担い手確保に重点を置いた活動に精力的に取り組んでいます。



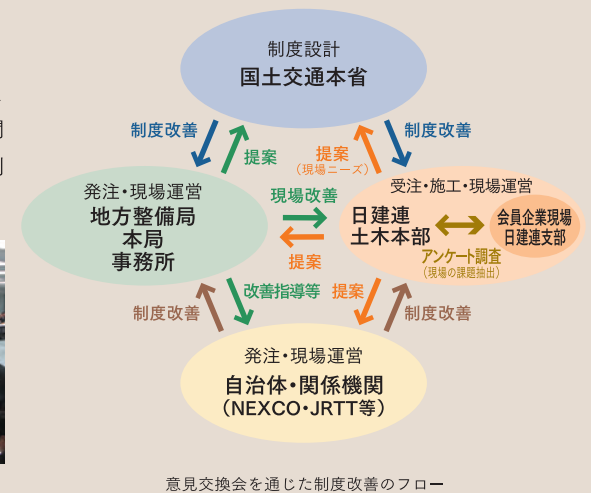
意見交換会の開催

日建連では、毎年全国9地区において、国土交通省地方整備局等との共催により、県、政令市や関係機関など主要な発注機関が一堂に会して「公共工事の諸課題に関する意見交換会」を開催しています。会議では、日建連から現場の実態を踏まえた制度の改善や導入を提案し、発注者と真摯な意見交換を行っています。

意見交換会での議論の成果を踏まえ、国土交通本省、各地方整備局とフォローアップ体制を構築して、現場へ浸透させていくための取組みを進めています。また、高速道路会社や鉄道・運輸機構など各分野別の意見交換会や、各支部では整備局をはじめ主要な発注機関とそれぞれ意見交換会を実施しています。



意見交換会の様子



意見交換会を通じた制度改善のフロー

建築 — 安全・安心な建築・街づくり

日建連建築宣言

日建連は、2012年3月に技術開発から設計・施工までにかかわる総合建設業の団体として、今後の建築のあるべき姿と私たちがなすべきことを取りまとめ「日建連建築宣言」を公表しました。現在においても、ぶれない軸として宣言を継承しつつ、多様な活動に取り組んでいます。

未来に引き継ぐ確かなものを — 日建連建築宣言 —

基本方針

1. 安全・安心の建築・街づくりに貢献します
2. 低炭素・循環型社会の構築に貢献します
3. 世界に誇れる未来の建築文化を創造します

安全と安心の建築・街づくり

災害時にも建築物の機能が維持される構造・耐震技術の向上に努めるとともに、災害に強い街づくりの推進に向けた技術・知見の提供、制度や基準などに関する要望・提言を行っています。

▶ 耐震改修のすすめ／耐震改修事例集の展開

カーボンニュートラル社会を目指して

施工段階でのCO₂排出削減が求められる一方で、建物運用時(建物使用時)のエネルギー消費によるCO₂排出削減に設計段階から取り組んでいます。

- ▶ サステナブル建築／ZEB、ZEHの推進
- ▶ 中高層建築物の木造・木質化の推進

建築生産システムの高度化・建築プロセスの最適化

建築生産システムの高度化・最適化に資するために、関連する法律・制度の検討、建築設計に関する調査研究、施工に関する品質確保・生産性向上、BIM活用の推進、建築技術に関する研究開発、マンション工事に関する検討など、幅広い諸課題に対し取り組んでいます。また、担い手の確保のため、若い世代に建築の魅力を発信し続けています。

- ▶ 建築工事適正工期算定プログラムの普及
- ▶ フロントローディングの推進
- ▶ 建築ロボットの推進
- ▶ ICT活用の推進
- ▶ 施工BIMのスタイル・施工BIMのすすめの展開
- ▶ 日建連建築セミナーの開催



川上での“ものづくり”を目指す「フロントローディング」の手引書(2019年7月)



施工BIMのスタイル 施工段階におけるBIMのワークフローに関する手引き2020

日建連表彰

良質な社会資本あるいは優秀な建築物をつくり出すには、発注者(建築主、施設管理者等)、設計者、施工者(これを支える専門建設業者等を含む)など数多くの関係者による理解と協力が必要であるとの視座に立ち、優れた建設物を創出し、文化の進展、国民生活・産業基盤の充実、地方創生や環境保全に寄与するため、2019年に日建連表彰を創設しました。2020年から受賞案件を選考・決定し、表彰式を開催しています。日建連表彰は、土木分野の「土木賞」および建築分野の「BCS賞」により構成されます。



日建連表彰ウェブサイト
<https://www.nikkenren.com/sougou/award.html>



土木賞



BCS賞



受賞者代表・記念撮影(2021年4月19日表彰式)



受賞者に贈られる表彰盾



受賞者に贈られる表彰パネル

環境

建設業の環境自主行動計画

日建連では、建設業の社会的責任を果たしていくため、業界の環境活動指針をまとめた「建設業の環境自主行動計画」を発行し、具体的な環境改善活動の拡充を図ってきました。

また、政府が掲げた「2050年にカーボンニュートラル・脱炭素社会を目指す」との目標を達成するために、建設業としての取組みを検討しています。



『建設業の環境自主行動計画』
こちらでお読み頂けます
<https://www.nikkenren.com/kankyoku/>

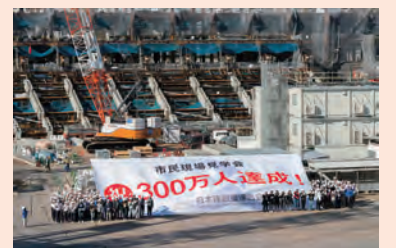


広報活動

日建連では、建設業の魅力や取組みを一般の方にも知っていただくため、様々な広報活動を行っています。



広報誌「ACE 建設業界」



市民現場見学会の開催

「ACE 建設業界」こちらでお読み頂けます
<https://www.nikkenren.com/publication/ACE/>

